

# DIA メディカル・アフェアーズフォーラム 2021

～ 一歩先に進んだMA活動を実践するには? ～

2021年11月26日(金) 10:00～17:10

WEB (Webinar) 開催 ※17:10-18:00 Chatting Session

## プログラム概要

メディカルアフェアーズ (MA) は、製品の販売活動を担当する部門から独立し、医学的および科学的な知識をベースに医師などの医療従事者のアンメット・ニーズを特定し、必要な情報を創出、提供し、医療の価値の最適化を通して、患者さんの生活の向上に寄与すること目的とした部門とされています。日本製薬工業協会においてはMA部会が発足し、一昨年「メディカルアフェアーズの活動に関する基本的考え方」が発表されました。その中では、MAのミッションは、「すべての患者さんへ最適な医療を届けるため、① アンメットメディカルニーズを充足させる医学・科学的なエビデンスを構築し、医療関係者等へ情報発信する。② 高度又は最新の科学的知見等を用い、医学的・科学的交流を社外医科学専門家に対し行う。」と記されています。しかしながらMAは、製薬企業において比較的新たに設立された部門であり、部門の業務範囲、役割、期待値は会社により様々であり、大きな期待がMAに寄せられつつも、理想と現実の狭間で悩むことがあると思います。これらの背景を踏まえ、昨年DIA Japanとして初めてのメディカル・アフェアーズフォーラムを開催させて頂き、多くの方々参加を頂き、活発な議論を行うことができました。

2020年以降、COVID-19の拡大を受け、デジタルトランスフォーメーションの大きなうねりが製薬業界にも到来しております。MA活動においてもデジタルチャネル、プラットフォームの活用がより一層加速し、MSLによるデジタル・エンゲージメントが顧客とのコミュニケーションの主体となっております。リアルワールドデータ(RWD)の活用が引き続き注目され、製薬企業は新薬開発、医療経済評価、有効性・安全性評価、顧客分析等に対する取り組みにデジタル技術の活用を強化しているところと思います。また様々なエビデンスを含む医薬品情報を医療関係者や患者さんに届け、適切な患者さんに適切なタイミングで適切な治療が行われるよう、MA部門では日々創意工夫をされていると思います。しかしながら、情報が正確に伝わらない、正確に理解されない等、苦労されていることもあると推察します。

今回のメディカル・アフェアーズフォーラムでは、昨年のテーマから更に一歩先のMAの未来を見据え、医療・患者に貢献できる新たな試みをどのようにMA活動として実践していくかを議論したいと思います。今回は「リアルワールドデータ X デジタル」と「メディカルコミュニケーション X Implementation Science (実装科学)」という二つに焦点をおきます。この2つのテーマに対し、基調講演に及び各セッションにおいてはそれぞれの専門家から事例の共有を交えながら、最新の動向や現状の課題、今後の方向性などを深めていきます。さらにパネルディスカッションでは「一歩先に進んだMA活動を実践するには?」をテーマに、どのように考え、行動すれば、メディカルアフェアーズが一歩前に進んでいけるのかを、皆さんと一緒に考えたいと思います。また本会終了後には、任意参加でテーマ別にchatting sessionを行います。普段あまり議論をする機会が少ないメディカルアフェアーズに関わるメンバーと率直な意見交換の場を設けます。

企業のMA部門の方はもちろんのこと、MA部門と協働する企業の各部門の方、MA部門とコラボレーションをされているアカデミアの方など、一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 参加対象者

- ・ 製薬企業のメディカルアフェアーズ部門担当者
- ・ ファーマコビジランス担当者
- ・ メディカルコミュニケーション担当者
- ・ メディカルインフォメーション担当者
- ・ 臨床開発担当者
- ・ データベース事業担当者
- ・ マーケティング担当者
- ・ 規制当局の方
- ・ アカデミア、医療機関における実用化研究に携わる研究者、医師
- ・ このテーマに課題や興味を持たれている方

※ 講演及びディスカッションはすべて日本語資料及び日本語のみで行います。



Nihonbashi Life Science Building 6F,  
2-3-11 Nihonbashihoncho, Chuo-ku Tokyo  
103-0023, Japan  
Tel +81.3.6214.0574 Japan@DIAglobal.org

DIA Global Center: Washington, DC, USA | Basel, Switzerland |  
Beijing, China Horsham, PA, USA | Mumbai, India | Tokyo, Japan



## プログラム委員会

### プログラム委員長

- ・ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
- ・ 西馬 信一

### プログラム副委員長

- ・ グラクソ・スミスクライン株式会社
- ・ 浦島 直

### プログラム委員

- ・ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
- ・ 石堂 岳之
- ・ 千葉大学大学院医学研究院
- ・ 三澤 園子
- ・ 株式会社データタック
- ・ 二宮 英樹
- ・ アッヴィ合同会社
- ・ 杉本 義幸
- ・ ノバルティスファーマ株式会社
- ・ 戸田 光俊
- ・ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
- ・ 宇野 修司
- ・ アステラス製薬株式会社
- ・ 渡辺 哲也

## DIA Japan Operation Team

- ・ 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
- ・ 宇都野 侑史

## ※ ランチョン展示募集中!

- ・ 詳細はDIAまでお問い合わせください。

- ・ DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAglobal.org

**10:00-10:15 開会の挨拶**

一般社団法人 ディー・アイ・イー・ジャパン

西條 一

プログラム委員長/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

西馬 信一

**10:15-12:00 基調講演**

※途中、ブレイクあり

座長

プログラム委員長/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

西馬 信一

**製薬業界を取り巻く環境変化と次世代MAへの期待**

PwCコンサルティング合同会社

石毛 清貴

製薬業界もCovid-19の影響もありデジタル技術による破壊的な変化が加速し、チャンスとチャレンジの両面に直面しています。MA部門においても、デジタルを活用した顧客とのエンゲージメントが主体となる一方、リアルコミュニケーションの重要性が新しい形で見直され、デジタルとのシナジーをいかに図っていくべきかが問われています。

本セッションでは、環境変化を踏まえて次世代MAに期待される要件について考察します。

**リアルワールドデータの活用からエビデンスへ**

京都大学大学院

川上 浩司

医療現場から発生する各種の情報を活用して、臨床疫学や薬剤疫学の手法を通じて、どのように医学エビデンスを発出するのか、またその期待と限界について、現況をディスカッションできればと思います。

**質疑応答**

本セッションの講演者

**12:00-13:15 セッション 1****開発とビジネスを加速させるエビデンス創出：RWD活用とDX**

座長

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

宇野 修司

**DXの導入がRWDの悉皆性と質の向上に寄与する**

株式会社データック

二宮 英樹

日本でもアカデミア及び企業におけるRWD（リアルワールドデータ）活用が進んできました。しかし現状の日本のRWDではリサーチクエストのごくごく一部しか検証できないという課題があります。そのボトルネックは医療機関のDXです。関節リウマチデータベースMiRAIなどの例を挙げて、医療機関のDXを通じてより良いRWDを発展させていく取り組みについてお話しします。

**ヒト由来データ利活用の促進とその課題ーデジタルコンプライアンスの活動促進**

中外製薬株式会社

石西 諒

昨今デジタルトランスフォーメーションの潮流を受け、ヘルスケア業界においてはリアルワールドデータ等のヒト由来データの利活用促進が期待されている。一方でそれらのデータには個人情報を含むことから、法規制対応をはじめとするプライバシー/セキュリティ面での対応と創薬の加速の両立に向けた中外製薬におけるデータ利活用にあたっての取り組みや課題について事例を交えて紹介していく。

**Medical Affairsにおけるエビデンス創出と、RWDへの期待**

ヤンセンファーマ株式会社

森谷 隆

Medical Affairsにおけるエビデンス創出とは、市販後の医薬品の「"本当の姿"を明らかにしていく営み」と言っても良いだろう。この営みの中で、昨今では保険診療明細や電子カルテのデータを含むリアルワールドデータが威力を発揮する場合とそうでない場合があり、その現状・課題と今後の未来のエビデンス創出について考察します。

**質疑応答**

本セッションの講演者

13:15-14:15 ランチブレイク ※ランチョンセミナー

13:30-13:50 インフォコム株式会社 

14:15-15:20 セッション2

**実装科学 × 行動経済学から一歩先に進んだMA活動を考察する**

座長

ノバルティスファーマ株式会社

戸田 光俊

**なぜいま実装科学が注目されるのか？**

株式会社キャンサーズキャン

福吉 潤

ある医療的介入が臨床上有効であるというEvidenceが示されたとしても、それが実臨床で実施される上ではギャップが存在する。EvidenceとPracticeのギャップを埋めるためには、実装に向けたステイクホルダーの行動変容に繋げることが重要である。昨今急激に注目されるようになってきた実装科学とは何かを事例をもとに議論したい。

**医療の質改善と行動経済学**

聖路加国際病院

水野 篤

Evidence-practice gapについて注目されてから、多くの研究がなされてきた。特に、政策および病院においては名称およびシステムの違いはあれ、医療の質改善:QI(Quality improvement)の活動として実装されている。近年、このような医療の質改善活動において、行動経済学の理論が実装されてきている。医療現場での行動経済学、ナッジに関する基本的な紹介と今後の発展性について触れる。

**質疑応答**

本セッションの講演者

15:20-15:30 ブレイク

15:30-17:00 パネルディスカッション

座長

グラクソ・スミスクライン株式会社

浦島 直

千葉大学大学院医学研究院

三澤 園子

基調講演および2つのセッションの内容も振り返りつつ、“一歩先に進んだMA活動を実践するには？”をテーマにパネリストの方々とともに、今後のメディカルアフェアーズ活動の展望や一歩先に進んだMA活動を実践する上でのマインドや行動などを様々な角度から議論したいと考えております。参加者の皆様からも積極的なご質問や問題提起等をお待ちしております！

パネラー

本セッションの講演者、および

プログラム委員長／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

西馬 信一

17:00-17:10 閉会の挨拶

プログラム副委員長／グラクソ・スミスクライン株式会社

浦島 直

17:10- 18:00 Chatting Session ※4つのテーマのグループに分かれ意見交換・ネットワーキングを行います。

ファシリテーター

アステラス製薬株式会社

渡辺 哲也

# 会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11  
日本橋ライブサイエンスビルディング6F Tel: 03-6214-0574

## DIA メディカル・アフエアーズフォーラム 2021

[カンファレンスID #21319]

2021年11月26日 | ※WEB (Webinar) 開催

### ◆ 参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込み頂くか、この申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付Japan@DIAglobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

### ◆ 年会費及び参加費

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

#### ① 年会費

現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

\*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみに適用されます。会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひご登録ください。

\*\*アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 20,000 (税抜)	¥ 22,000 (税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 36,000 (税抜)	¥ 39,600 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 13,800 (税抜)	¥ 15,180 (税込)
Academia 2-Year Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:2年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 24,800 (税抜)	¥ 27,280 (税込)

#### ② 参加費

所属カテゴリと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会員	一般	早期割引:2021年11月12日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 23,200 (税抜)	¥ 25,520 (税込)
		2021年11月13日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 25,600 (税抜)	¥ 28,160 (税込)
政府関係 非営利団体 大学関係 医療従事者	一般	早期割引:2021年11月12日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 10,800 (税抜)	¥ 11,880 (税込)
		2021年11月13日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 12,500 (税抜)	¥ 13,750 (税込)
非会員	一般	<input type="checkbox"/>	¥ 39,600 (税抜)	¥ 43,560 (税込)	
	政府関係/非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥ 26,000 (税抜)	¥ 28,600 (税込)	
	大学関係/医療従事者	<input type="checkbox"/>	¥ 21,600 (税抜)	¥ 23,760 (税込)	

③ 合計金額 (①+②): 合計 \_\_\_\_\_ 円

DIA Japan 使用欄	
Date	
No.	
受領書 送付	
Invoice	
入金	

### ◆ お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(いずれか1つにチェック)  VISA  MasterCard  JCB

カード有効期限(mm/yy) \_\_\_\_\_ カード番号 \_\_\_\_\_

カードご名義 \_\_\_\_\_ ご署名 \_\_\_\_\_

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名または請求書番号を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担をお願いいたします。

#### アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓) <input type="checkbox"/> Dr. <input type="checkbox"/> Mr. <input type="checkbox"/> Ms.	First name (名)	Company		
Job Title	Department			
Address	City	State	Zip/Postal	Country
Email (必須)	Phone Number (必須)	Fax Number		

\* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2021年10月29日までは手数料として一般会員・非会員とも10,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも5,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)。参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。会場は変更される場合がありますので予めご了承ください。

\* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

\* 本会議では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む映像・写真を撮影することがあります。本会議の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを承諾するものとします。

[DIAが取り扱う個人情報について] お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合がございます。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取り扱いご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。